

第 20 「火災のとき煙が著しく充満するおそれのある場所以外の場所」 の取扱いについて

省令第 19 条第 6 項第 5 号に規定する「火災のとき煙が著しく充満するおそれのある場所以外の場所」については、次のいずれかに該当することとする。

なお、開口部が一面のみにある場合や壁面の下方部のみにある場合等、開口部が偏在する等で、法第 2 条第 4 号の防火対象物関係者が、安全に初期消火活動ができず、又は安全に避難できないおそれのあるものは、「火災のとき著しく煙が充満するおそれのある場所以外の場所」とは取り扱えないものとする。

また、開口部には、火災時に閉鎖されることを前提とする開口部（延焼のおそれのある部分の開口部等）は含むことはできない。

1 駐車場等の部分に設けるもの

- (1) 完全開放の屋上駐車場又は高架下の駐車場等で、周壁がなく柱のみである部分若しくは周囲が危害防止上の鉄柵のみで囲まれている部分
- (2) 外気に面する外壁開口部が常時開放された構造のもので、かつ、排煙上有効な開放部分の合計面積が当該床面積の 15%以上ある部分
- (3) 長辺の一边について全面が常時外気に直接開放されており、かつ、他の一边について当該壁面の面積の 2 分の 1 以上が常時外気に直接開放されていること。
- (4) 四辺（構造上必要な柱部分以外の当該場所の全周）の上部 50 cm 以上の部分が常時外気に直接開放されていること。
- (5) 天井部分（上階の床を兼ねるものを含む。以下同じ。）の開口部（エキスパンドメタル、グレーチングメタル、パンチングメタル等の部分を含む。）の面積の合計が自動車車庫の床面積の合計の 15%以上確保されていること（開口部が著しく偏在する場合を除く。）。

2 飛行機又は回転翼航空機の格納庫等に設けるもの

(13) 項口の防火対象物又は防火対象物の屋上部分で回転翼航空機等の発着の用に供されるもの（以下「飛行機又は回転翼航空機の格納庫等」という。）にあっては、次に掲げる部分

- (1) 1 に掲げる部分。ただし、(13) 項口の防火対象物又は (13) 項口の用途である部分にあっては、主たる用途に供する部分の床面積が 1,000 m²以上のものを除く。
- (2) 航空機の格納位置が限定されるもので、当該床面積（格納される航空機の全長に全幅（回転翼そのものは含まない。）を乗じた数値を床面積とする。）以外の部分

3 電気設備が設置されている部分又は多量の火気を使用する部分で次のいずれかに該当する部分

- (1) 地上1階及び避難階にある部分で、地上から容易に手動又は遠隔操作により開放することができる開口部(外気に面する扉等)の有効面積の合計が、床面積15%以上である部分
- (2) 電気設備が設置されている部分又は多量の火気を使用する部分の床面積(当該設備の周囲5mで算出した場合に限る。)で、実際に当該部分が区画されている床面積の5分の1未満となる部分